

史料群番号 90

史料群名	でばじま 出羽島漁業協同組合文書	旧所蔵者	出羽島漁業協同組合
探訪時住所	徳島県海部郡牟岐町出羽島		
現在の住所	徳島県海部郡牟岐町牟岐浦		
探訪年月	昭和27（1951）年11月		
史料の年代	天保7（1836）年～昭和19（1944）年	史料の 総点数	32点
年代の内訳	近世 1点/近代 26点/不明 5点	筆写稿本	なし
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

探訪の書類によると、借用分と寄贈文があつて、前者が帳簿5点、後者が帳簿2点である。現在中央水産研究所に収蔵されている同漁協文書は、帳簿は確かに2点であるが、それ以外の冊子類も数十点含まれる。探訪時の寄贈資料がそのまま現在まで収蔵されているかどうかは不明である。

史料群の概要

出羽島（でばじま）は、牟岐町沖の島で、古くから牟岐浦に所属してきた。島に人が移住したのは、寛政頃といわれるが、実際はもう少し古くから移住者があつたようである。一時、移住を推進するために藩から諸役の免除や漁具の貸与などが行われ、次第に居住者が増えた。

本史料群は、天保7年の金子覚と明治3年の浦証文以外は、すべて昭和の出羽島漁業組合の史料で、農林省や徳島県の作成した冊子類数点が含まれる。

